

1.事業が目指すところ

子ども団体は結成以来、過疎化、少子高齢化、若者の町外流出などの新宮町の地域課題を解決するべく若い世代を中心としたにぎわい創出事業に取り組んでいる。その中でも、子どもや親子向けの学びや体験などを集めたこの事業では、「学校では教わらないことを地域が担い、教え、伝える！」を目標に活動している。地域の力を活用し、子供たちの学びの場を生み出すことで、興味や関心を引き出すきっかけづくりに取り組んでいきたい。また、参加者の夢や目標につながる活動になればと期待している。それと同時に教える側の生きがいや地域内の多世代交流を生み出す事業にしていく事で、まち全体で人を育む環境を整え、『まち育』事業として広げていきたい。

2.活動内容

新宮町内の自然や人などの地域資源を活かした親子・子ども向けのワークショップや体験プログラムを実施する活動を行う。その中で、新宮に遊びに来てもらい『新宮町の魅力発見』や『新宮で楽しむ！』をテーマに地域住民をはじめ市内外の人々の交流を促進し、活気ある「まちづくり」「賑わいづくり」を創出する事業を行う。昨年度から進めている【マイスター派遣事業】では地域内の交流の場づくりを目指している。また、今年度はまなびの商品開発事業にも取り組みました。

☆実施事業☆《しんぐう☆まちあそび2024》【()内は開催場所・参加者人数、[]は協働先】

【1.しんぐう☆まちあそび】 [たつの市/自治会/地域活性化委員会/消防団/ボランティア協会]

7/7(日) 『ここにこマルシェDEまちあそび七夕まつり』(西栗栖コミュニティセンター・約300名)

10/6(日) 『くりす秋空フェスティバル』(東栗栖コミュニティセンター)

1/26(日) 『しんぐう☆ちよこっとまちあそび～ひかりでつながぎずなプロジェクト～』(西栗栖コミセン)

【ダンスワークショップ】(西栗栖コミセン・わくわく・15名)、【親子料理教室】(講師喜多マリコ・4組10名)

【2.しんぐう☆農家体験】 [たつの赤とんぼクラブ/市内農園]

6/16(日) 【もち米の田植え】(けんたろう農園・10組32名)

「七夕まつり」

10/20(日) 【もち米の稲刈りとハザガけ体験】(けんたろう農園・6組20名)

12/8(日) 【餅つき体験】(けんたろう農園・4組12名)

1/26(日) 【かまどDEごはん】(いのうえゆきこ・4組15名)



【3.しんぐう☆イルミネーション】 [西栗栖コミセン/自治会]

12/15(日)～ 【西栗栖コミュニティセンターをライトアップ】

【4.まなびの商品開発】 [ハコラボ]

昨年ご縁を頂いたハコラボさん(段ボール会社)とこども園保育士さんと一緒に商品開発。

段ボールでつくる写真立てを作ってワークショップを開催する予定。

「マイスター派遣」

「農家体験」

【5.マイスター派遣事業】 [栗栖の荘 あすかの園]

7/16(火) 14時～16時 (施設利用者/施設職員、24名/8名)

・大人の部活カリンバ部【BiBinba】ウクレレ部【BiBihana】10名



【6.みんなの学校】[新宮小学校/100名]

帝国電機製作所さんに協賛いただき、新宮小学校で気球を飛ばしました。

町内小中学校で統廃合が進む中、来年取り壊される校舎を空から見れる事業を行い、

在校生をはじめたくさんの地域の方に参加して頂きました。

※2月下旬 まちあそびチラシ作成予定。新宮町内配布及び行政施設等配布予定(6000部)。

3.成果や課題点

今年度も多くの方に支えて頂き、事業の趣旨に賛同してくださる企業や地域団体なども少しずつ増えて嬉しい限りです。マイスター派遣事業も有難いことにお声掛けが増え、福祉施設やこども園などに新たな交流をやつながりを生み出す場づくりのきっかけになっています。加えて、協力依頼や相談が増えたことで、メンバーのモチベーションアップにつながっています。改めてこの事業の良さを実感し、さらに多くの方に認知して頂きたいと感じます。今年度は、企業とのタイアップ事業を企画し、協賛金による事業プログラムを実施致しました。それにより運営費を補助金に頼らないイベントの実施をすることができました。ただ、すべてのイベントが賄えたわけではなく、今後は他の事業についてもそのような取り組みを増やしていく必要があると感じました。来年度以降は、協賛金の活用や参加費の有料化により、持続していける団体運営を視野にいれながら活動していきたいと考えます。

4.今後の展望、成果の活用

これまでのように【縁】を大切につなぎながら、大規模イベントの開催のみならず、一人一人の子ども達や住民の方々に行きわたるような地域教育の場づくりを目指していきたい。そして引き続き『まち育事業』として開催していけるように活動を広げていきます。出張授業やマイスターの派遣など、これまでには無かった教育のカタチも模索しながら、子ども達の未来につながるような取り組みにし、『地元に戻りたい!!』と思ってもらえるような事業にしていく為、これからもみんなで努力していきたいと思えます。